

高齢者交通安全指導員 情報交換会

11月13日（金）滋賀県大津合同庁舎 7階B会議室

平成22年度からクレフィール湖東で実施している「高齢者交通安全指導員養成講座」に参加して下さった方々と指導員の皆さんとの情報交換会を開催しました。25名の方が出席して下さいました。

第1部 講義「高齢者の交通安全教室 について」

（講師 滋賀県警察本部 交通企画課 ふれあいチーム ）

滋賀県警察本部交通企画課ふれあいチームに講義をしていただきました。普段から高齢者を中心に交通安全教室をされている内容を実演しながらコツやポイントを教えていただきました。参加者の中には質問される方も多く、興味のある内容が多かったようです。



手遊びからスタート。まずは交通安全教室に参加される方をリラックス！参加者が楽しく受講できることが大切です。



腹話術の「けんちゃん」を使って信号の勉強。人形がいるだけで何が始まるのかな？と気持ちかわいてきます。



「あんたがったどこさ ひごさ ひごどっこさ」の歌に合わせて指を相手のグーの穴から抜きます。グーをしている人は指を抜かれないようににぎります。自然と笑顔がこぼれます。反射の訓練にもなります。



けんちゃんの持ち方、動かし方を教えてもらいました。



反射材をこのメガネを使って暗い中で見るととても光って見えることが分かります。実際体感することで、反射材の効果も感じられます。体感する内容はとても交通安全教育には有効です。



第2部 情報交換（グループ別→発表）

それぞれの所属団体や各地域の老人クラブ等で交通安全指導に携わっておられる皆さんに日頃気になっていることや各自の活動の様子を交流していただきました。どのグループも活発な意見交流ができ、大変有意義な時間になりました。



[各グループで話題になった内容より一部抜粋]

- ・2か月に一回お楽しみ会を開催する中で交通安全教室を取り入れている。また、学校の下校カレンダーを作り、パトロールをしている。夜間パトロールも行い、自転車無灯火を指導したりもしている。教習所にお願ひし、高齢ドライバーの交通安全教室をお願ひしている。加齢が進むとブレーキとアクセルの踏み間違いを起こしやすくなることを伝えている。体験型の講習が高齢者には有効で反射材などの見え方についても体験することで使おうと考えてもらえると感じた。
- ・寸劇を取り入れた交通安全教室は高齢者には有効で分かりやすく記憶に残る教室であることが大事だという話が出た。交通安全週間には手作りの札を作って立ち番をしている。
- ・高齢者の方は交通安全教室は真剣に話を聞いてくれるが、実際の帰り道は教室での内容が忘れられており、なかなか行動に移していただけないと感じている。高齢者訪問も行い、自治会長にお願ひをして回っている。立ち番をしている中で注意をすると逆に怒られることもあり、どう声をかければいいのか迷う。
- ・講習会を開くが身についているかわからないがやることに意義があると思う。指導員の活動する場所や機会がもう少しあればと思う。市町への周知努力が必要である。講習会の内容や講師派遣の相談もしてほしい。啓発品など配れるものもあれば講習会を開くきっかけづくりができる。

※反射材等の啓発品、交通安全ビデオ等の教材、自転車シミュレーターやシートベルト着用体験等の出前講座について、相談に応じます。是非ご活用下さい。

滋賀県交通戦略課交通安全対策室 TEL (077) 528-3682